



全日本学生遊技連盟 1692チームの頂点へ 「PS:JAPAN 2025」決勝大会

決勝参加チームと学遊連の職員

全日本学生遊技連盟(学遊連)が主催する学生向けパチンコ・パチスロ大会「PS:JAPAN 2025」決勝大会が、2月23日から25日にかけて横浜で開催された。決勝大会へと駒を進めた、全国の学生たちが、パチンコ・パチスロに関するさまざまな競技で頂点を目指した。

「PS:JAPAN」とは、「健全な遊技方法を理解した『将来的なユーザーの創出』を目的に、23年から開催されている学生向けのパチンコ・パチスロ全国大会。今回で3回目。

優勝チームには、最大222万円(一人111万円)の奨学金が贈られる。今大会は2人1組のタッグ戦。全国7カ所で開催された地方予選大会、全国オンライン予選、みんパチ・スロサミ特別予選に総勢1692チームが参加した。

3つの予選大会から決勝進出を決めた約50チーム100人が決勝の舞台となるアパホテル&リゾート(横浜ベイトワール)に集結。3日間にわたる戦いが幕を開けた。

決勝大会は7つの競技 総合優勝を目指す

今大会は7つの競技を用意。それぞれの競技の総合ポイントで頂点を決める。大会初日には2つの競技が行われた。進行役は今年もDMMばちタウン所属の倅田柚希さん、学遊連公式アンバサダーのひなたさんが務めた。

第一競技は「限界まで詰める!!メダル・玉カチモリ対決HYPER」。配布された

クリアコップに玉とメダルを限界まで詰めて、その重さの総合がそのままチームのポイントとなる。

第二競技は「1番を引き続ける!!運命の一撃対決!!」。ホールで使用している入場抽選機で、当たりを引き続けるほどポイントが加算されるといふもの。ハズレを通すことができれば大量ポイントが加算されるといふ手に汗握る競技だった。

2日目は「マルハンメガシティ横浜町田」に会場を移し、パチンコ・パチスロの出玉対決が行われた。第三競技は制限時間60分の「短時間パチンコ出玉対決」。制限時間内に獲得した出玉がポイント(1玉=0.1ポイント)となる。参加学生は入場順を抽選で決めてから入場し、各々が勝負を決める台をチームで選んだ。対象となる機種は主に大当たり確率1/349~399のスマパチ。「e東京喰種」や「e新世紀エヴァンゲリオン」はじまりの記憶」といった人気機種が選べる中で、出玉速度の速い「e牙狼12黄金騎士極限」をチョイスする学生が多く、この競技でトップの出玉を獲得したのも同機で早い時間からLTに突入した学生だった。

第四競技は「短時間パチスロ出玉対決」。パチンコと同じく、60分の制限時間で獲得した出玉がポイント(1枚=1ポイント)に加算される。パチスロは、「パチスロ革命機ヴァルヴレイヴ2」や「e東京喰種」などAT機から、「マイジャグラーV」、BT機が対象だった。AT機を選ぶ

学生が多い中、最も多くの出玉を獲得したのはBT機「SHAKE BONUS TRIGGER」に2人で着席したチーム。短時間勝負というルールで、確実に出玉を獲得する作戦が功を奏した。実店舗での出玉対決を終え、昼食を済ませてから第五競技「パチンコ・パチスロ

知識テスト」が行われた。これは依存問題や2025年に導入されたパチンコ・パチスロに関する筆記テスト。実技と筆記試験を終えて、2日目は幕を閉じた。日本一の学生が決定する最終日には、山佐の公式VTubeer:虹河ラキさんが登場した第六競技「虹河ラキコラボ!リアルタイムBET対決」と、学生職員8人が「超ディスクアップ」でトーナメント戦を実施し、各試合でどちらが勝つか、また優勝者は誰なのかを予想する第七競技「超ディスクアップBET対決」を開催。すべての競技終了後、表彰式が行われた。



ライバルとなるチームと一緒に楽しみながら参加する学生の姿が印象的だった



「超ディスクアップBET対決」では、参加チームが学生職員を応援



優勝した「あやはーず」の谷口さん(左)と立畠さん

大会ファイナーへ 学生日本一のチームが決定

表彰式の冒頭では、学遊連の毒島大輔代表理事が「今年で3回目を迎えた『PS:JAPAN』。私自身も予選から会場に足を運んで、その盛り上がりを感じた。今回参加した学生のみならずには、この経験を学校の仲間にも共有してもらい、パチンコ・パチスロを通じて輪を広げてほしい」と挨拶。後援団体であるPAAの岡林克彦理事長、来賓の全日遊連・阿部恭久理事長からも挨拶があった。また表彰式には大会公式スベシ

優勝したときの喜びについてチームリーダーの谷口さんは、「まさか優勝できるとは思ってなくて、本当に運だけでここまでできました。まだパチンコを始めて1年ちょっとなので、これからも楽しみたいと思います」と話す。

相棒の立畠さんは奨学金の使い道について、「大学の友達とご飯に行ったり、車を買う足しにしたいと思っています。(谷口さんが)よく決勝の口をきいてくれた。と」と話してくれた。

開催地は未定なも催も予定されている「業界内で遊技離れが年層に、パチンコ・パチスロの期待度も年々増している」とも注目を集めている。

続きはデジタルブックで
ご覧いただけます。

詳細はこちら



実技は「マルハンメガシティ横浜町田」で行われた



虹河ラキさんとコラボした競技も



総合2位には一人77万円、3位にも同55万円の奨学金が贈られた